

社会的事象と自分たちの生活との関わりを考え、表現できる児童の育成 —座標軸シートを用いた比較・関連付けを通して—

特別研修員 社会 千葉和秀 (小学校教諭)

児童の実態

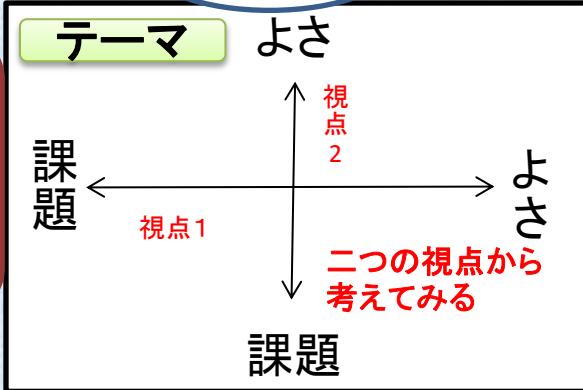
- ▼複数の資料を比較・関連付けて考えることに慣れていない。
- ▼学習している事柄を自分の事として促えて考え、表現することが難しい。

教師の願い

社会的事象を比較・関連・総合する力を育てたい。

座標軸シートを用いた話し合いの工夫

座標軸シートは、さまざまな事柄の関係を整理するのに役立つ思考ツールの一種。一つ一つの事柄を座標上のどのあたりに位置付ければいいのかを考えることで、比較・分類・位置付け・整理する力を育てる。



授業実践 単元「水はどこから」
(ねらい: 飲み水や生活に使われる水はどんな水か考える。)

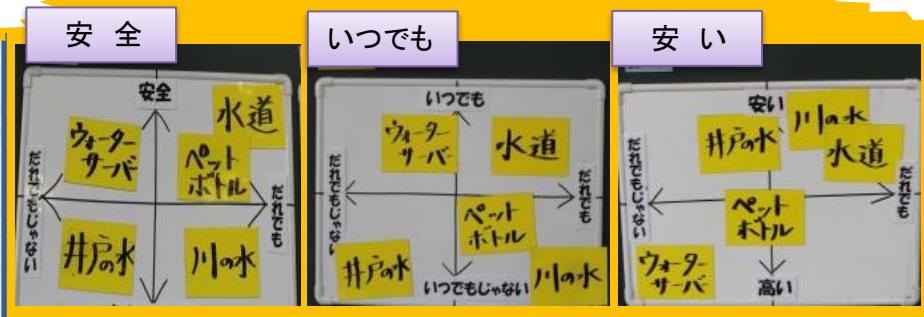
手立て①

座標軸シートを用いて自分たちのテーマごとに社会的事象を捉える活動

テーマごとに座標軸シートを使って、よさや課題を考えながら社会的事象の位置付けを考える。

どのあたりに位置付けるか考える時に根拠をもって意見を出し合う。

「飲み水に求められるもの」を考えた時の座標軸



異なるテーマで考えた他の班のシートとも関連付けて考える。

異なるテーマの座標軸シートを比較したことで、気付いたこと
・水道の水は、安全でいつでもすぐ飲めて安いんだな。
・ウォーターサーバーやペットボトルの水は手に入れやすくなったけど、値段が高いね。

手立て②

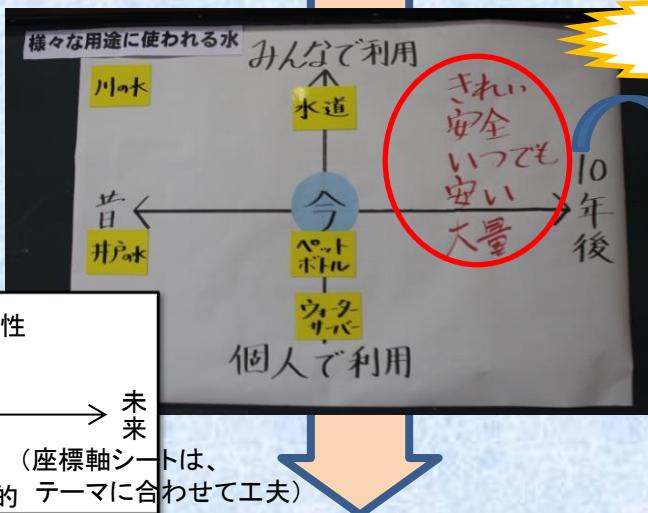
社会的事象と自分たちの生活を比較・関連付ける活動

テーマごとに話し合った結果を、過去、現在、未来の視点から再構成することで、社会的事象の価値について考える。

自分たちの生活との関わりを捉え直す
新たな視点の投入。

生活の中で使われる水の中で、飲み水はほんの一部でしかないんだね。

生活用水として様々な用途に使われる水道のよさを、時間という軸でも捉えて考える。



児童のまとめ(一部抜粋)
10年後も、人々が健康で安全できけんなものが入っていない、みんなが「おいしい」と言ってくれるような水を作ってもらいたい。いつでも手に入る水道水が大切であることがわかった。生活には**たくさん**の水が使われるので、私たちは水を大切に、最後まで使えるようにしていきたい。

成果と課題

- 座標軸シートを用い、テーマに沿って事柄の位置関係を考えることで、社会的事象を的確に捉えることができた。
- 複数の座標軸シートを比較・関連付けることで、自分たちの生活との関わりに気づき表現することができた。
- どのような視点で座標軸を設定するかによって話しやすさが変わることが分かってきた。視点を設定する時には、児童自らが視点を導き出せるように思考を整理していく工夫が必要である。